

24日、ブリュッセルでモルドバ支援国会合開催

A . 主な動き

1 . 内政

憲法改正

・22日、ギンブ国会議長が主導する憲法改正委員会は新憲法案を公表。主な変更点は以下の通り:

有権者年齢の引き下げ(16歳)、大統領候補の年齢は40歳以上、国会議員候補は21歳以上、国語はルーマニア語(または然るべき手続きにより決定)と規定、大統領は国民投票により決定等。

尚、同委員会は、国民投票により憲法改正を規定する法案も発表。

・22日、欧州委員会は、憲法改正は国民投票ではなく議会で決定すべきであるとのヴェニス委員会の勧告に従うよう警告。

・22日、シューベル駐モルドバEU大使は、ヴェニス委員会の勧告に従うことがパートナー側からの幅広い援助を保つための条件であり、モルドバ側が早期議会選を回避するという最終決定を下せば、EUモルドバ関係に影がさすと発言。

・24日、欧州評議会議員会議は、欧州委員会、OSCE及びその他の機関の憲法改正に対する見解はヴェニス委員会の勧告に従うことで一致していると発表。

・25日、憲法改正に関する国会委員会は新憲法案を承認。ただし、民主党及び自由民主党の議員は投票を拒否し退場。ギンブ国会議長は、AEI内部でも新憲法案に対し意見の相違があることから、法案はAEIで再度検討し、ヴェニス委員会へ提出すると発言。

・25日、11名の委員から構成される憲法第78条修正に関する国会委員会が国会で成立。ヴェニス委員会が第78条の修正の必要性を強調していることが成立の背景であり、委員会は1ヶ月後に憲法第78条修正法案を用意の予定。

・26日、急遽ブリュッセルを訪問したギンブ国会議長はフィーレEU拡大・欧州近隣政策担当委員と会談。フィーレ委員は、ヴェニス委員会の勧告にモルドバが従うことの重要性を強調。

その他

・20日、ギンブ国会議長は、ヴォローニン共産党党首がAEIに提案している「政治危機克服に関する協定」を検討するが、ヴォローニンの協定は信用できないと発言。

・22日、AEIの代表者4名は、共産党の協定案を検討したものの、共産党がAEIに何かを要求する権利はないとの見解

を発表。

2 . 沿ドニエストル

沿ドニエストル合同委員会(JCC)

・24日、JCCは、平和維持任務遂行準備状況点検が開始されたと発表。本点検は2段階で行われ、第1段階では恒久的な展開場所での部隊の準備状況点検、第2段階では平和維持活動チェック・ポイント近くでの共同平和維持野外演習を計画。現在、沿ドニエストル安全保障地帯における共同平和維持部隊は、ロシア431名、モルドバ453名、沿ドニエストル490名及びウクライナの軍事オブザーバー10名から構成され、15カ所の固定ポストとチェック・ポイントに配置されている。

・25日、ブリュッセルを訪問中のフィラト首相は、「5+2」フォーマットの沿ドニエストル問題解決協議に関し、モルドバが協議参加国の資格を得るべきであり、EUが凍結された紛争の解決により積極的な関与をすべきと発言。

3 . 経済

・22日、ガソリンスタンドでのガソリン価格が1リットルあたり0.3レイ上昇。石油輸入企業は、値上げが原油国際価格の上昇によると説明。

・24日、モルドバ支援国会合がブリュッセルにて開催され、フィラト首相、レアンカ副首相兼外務欧州統合相ほか閣僚が参加。ドナー国、国際機関は今後4年間の間に26億米ドル(そのうちの約半分は無償資金協力)の支援をすることを約束。

4 . 外政

23日、フィラト首相とパロゾ欧州委員長の会談

・パロゾ委員長は、モルドバとの協力関係継続の用意があることを指摘した上で、無査証渡航に関するEU・モルドバ間協議が6月15日頃に開始されるにあたり、モルドバが国内改革を実行し、憲法改正にあたってはヴェニス委員会の勧告に従うよう発言。フィラト首相は、憲法改正は国外からの勧告に従って行われると明言。

5 . 二国間関係

▼モルドバで新型レクサス取り扱い開始

・Lexus RX450h(ハイブリッド)は6万4530ユーロ。

・Lexus GX450は6万6230～6万9600ユーロ。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシノウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)